

めぐみイエス・キリスト教会

2019年2月17日(日)第三主日礼拝
週報「通算第444号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年2月17日(第三主日礼拝)
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会・奏楽 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌225「罪の汚れを」 p. 342
- 【交読文】 No.28 詩篇第91篇 p. 902
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌257「キリストは生きておられる」p. 400
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2「あなたと共にいつまでも」
- 【聖書朗読】 ヨハネの福音書17章13節～17節(新約p. 197下段)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《真理のみ言葉》 鈴木 竜実 牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌198「GOD BLESS YOU」 p. 294
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書17章13節～17節】

17:13 「私は今みもとにまいります。私は彼らの中で私の喜びが全うされる為に、世にあってこれらのことを話しているのです。

17:14 私は彼らにあなたのみ言葉を与えました。しかし、世は彼らを憎みました。私がこの世のものでないように、彼らもこの世のものでないからです。

17:15 彼らをこの世から取り去って下さるようというのではなく、悪い者から守って下さるようお願いいたします。

17:16 私がこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。

17:17 真理によって彼らを聖め別って下さい。あなたのみ言葉は真理です。」

●ポイント1.「私は彼らにあなたのみ言葉を与えた」とは？

※申命記8章1節～3節「主イエス様が引用された箇所」 (旧約p.291下段)

●ポイント2 .「悪い者から守って下さるように」とは？

※ヨブ記1章6節～12節「天の会議において」 (旧約p.778上段)

●ポイント3 .「真理によって、真理のみ言葉」とは？

※ヨハネの福音書14章23節～26節「私の言葉」 (新約p.192下段)

14:23 イエスは彼に答えられた。「だれでも私を愛する人は、私の言葉を守ります。そうすれば、私の父はその人を愛し、私たちはその人のところに来て、その人と共に住みます。

14:24 私を愛さない人は、私の言葉を守りません。あなたがたが聞いている言葉は、私のものではなく、私を遣わした父の言葉なのです。

14:25 このことを私は、あなたがたと一緒にいる間に、あなたがたに話しました。

14:26 しかし、助け主、すなわち、父が私の名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、私があなたがたに話したすべてのことを思い起こさせて下さいます。」

※ヨハネの福音書15章26節 「真理の御霊そのⅠ」 (新約p.194下段)

15:26 「私が父のもとから遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来るとき、その御霊が私についてあかしします。」

※ヨハネの福音書16章13節～14節「真理の御霊そのⅡ」 (新約p.195下段)

16:13 「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。

16:14 御霊は私の栄光を現わします。私のものを受けて、あなたがたに知らせるからです。」

◎先週のメッセージの概要【あなたの御名の中に】

《主は、父なる神様に、十一弟子たちの為に、取りなしの祈りをされました。「私は、あなたが私に下さった者たちの為にお願いします。なぜなら彼らはあなたのものであるからです。私のものはみなあなたのもので、あなたのもものは私のものです。私はもう世にいませんが、彼らは世にいます。聖なる父。あなたが私に下さっているあなたの御名の中に、彼らを保って下さい。」と。

この主のお言葉には、私たちが「どんな者」なのかが要約されています。

私たちは、もはやこの世のものではありません。私たちは、父なる神様のものであり、主イエス様のものなのです。

最後の晩餐の中頃に、主イエス様は弟子たちにこのように語られました。

「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりも私を先に憎んだことを知っておきなさい。もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、私が世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。」と。

ここではっきりと、弟子たちは、そして私たちは、主イエス様が「世から選び出された」ことを明確に教えています。そして、このようにも祈られたのです。「私は、あなたが世から取り出して私に下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。彼らはあなたのものであって、あなたは私に下さいました。」

ここからさらに、弟子たちは、そして私たちは、父なる神様が世から取り出し、主イエス様に委ねられたと言う真理が分かって来ます。

また「私に下さっているあなたの御名の中に、彼らを保って下さい。」と祈られました。主が願っておられることは、詩篇91篇に、描かれています。

『主は、ご自分の羽で、あなたをおおわれる。あなたは、その翼の下に身を避ける。主の真実は、大盾であり、とりでである。』と。

主イエス様の3年半に渡る公生涯において、主イエス様は、その御名の中に、弟子たちを守られたのですが、主がこの世から取り去られた時には、父なる神様の御翼の中にかくまって下さることを願っておられるのです。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は3月3日(日)です。2月24日(日)の礼拝は、鈴木牧師が国技館にて催される「五千人の第九演奏会」に出演する為、お休みします。また次回の聖書研究会・祈祷会は、2月20日(水)午後6時15分から行ないます。